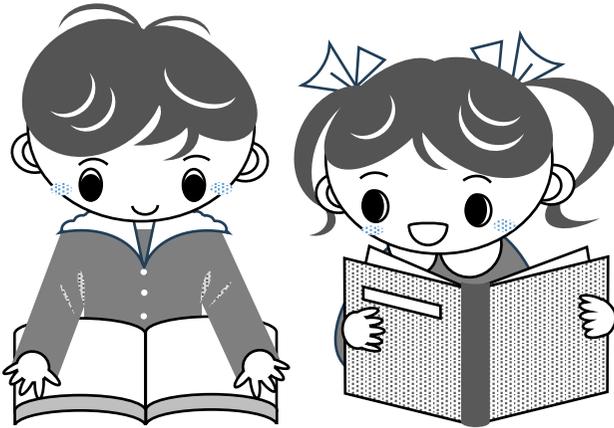


わたしたちの
えらんだ本

この本よんで II

小学校中学年・高学年のみなさんへ



北本市立中央図書館
北本市立こども図書館
北本市子ども文庫連絡会
北本子どもの本を楽しむ会



小学生のみなさんへ



このブックリストでは、長い間たくさんの子どもたちに
楽しまれている本を中心に、およそ70タイトルを^{しょうかい}紹介しています。

みなさんが、心に残る^{のこ}すてきな本と出会えますように！



大人のみなさんへ



子どもの心は、本の世界で楽しい経験を重ねていくことで
豊かに育っていきます。心がやわらかい子どものときにこそ
優れた本に出会ってほしいと願っています。

このブックリストがそのきっかけになれば幸いです。

***** 目次 *****

読みやすい本・・・・・・・・・・・・・2

詩・昔話の本・・・・・・・・・・・・・19

読みつがれている本・・・・・・・・・・・・・23

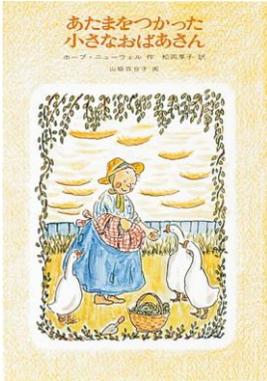
***** ^{りよう}利用の手引き *****

- ◇ ^{かくしやう}各章で、本は書名の50音順に並べてあります。
 - ◇ 自分の読書経験^{けいけん}に合わせて利用^{りよう}してください。
 - ◇ ブックリスト“この本よんで”は、3冊^{さつ}に分かれています。
- I 小さい子から小学3年生くらいまで
- II 小学校中学年・高学年のみなさんへ
- III 中学生・ヤングアダルト

1 あたまをつかった小さなおばあさん

ホープ・ニューウェル作 松岡享子訳 山脇百合子画

福音館書店



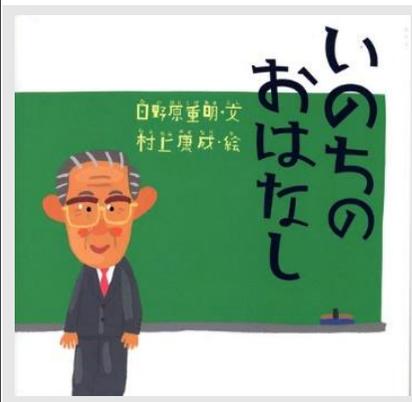
おばあさんはびんぼうでしたが、こまったときはいつでも頭をつかってきりぬけます。

とてもユニークで思わずわらいたしたくなるやり方で・・・。

2 いのちのおはなし

日野原重明文 村上康成絵

講談社



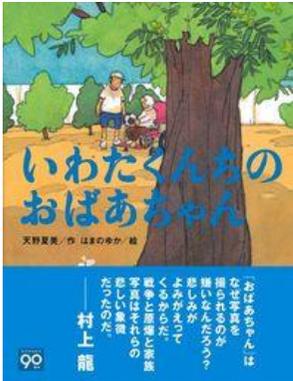
「いのちってなんでしょう？どこにあると思いますか？」

95歳のお医者さんからの質問に、10歳の30人がいろいろな意見を出します。さて、先生の答えは何だったのでしょうか？

3 いわたくんちのおばあちゃん

天野夏美作 はまのゆか絵

主婦の友社



小学生のぼくは、いわたくとなかよし。運動会でいわたくんの家族写真をとろうとしたが、いわたくんのおばあちゃんは家族といっしょに写真をとらない。悲しい思い出があるから。実は、おばあちゃん^{げんぱく}は原爆投下の日に広島にいたのだ。

4 エルマーのぼうけん <シリーズ>

ルース・スタイルス・ガネット作 わたなべ しげお訳

ルース・クリスマン・ガネット絵

福音館書店



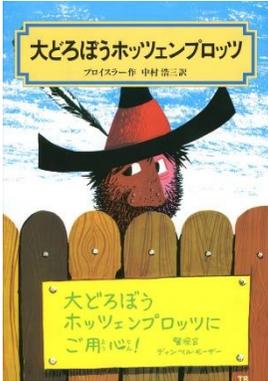
エルマーはどうぶつ島でつかまってしまったりゅうの子を助けるため、ぼうけんの旅に!

リュックの中には、チューインガム、歯ブラシ、虫めがねなど…。さあ、エルマーはどうやってりゅうの子を助けるのでしょうか?

5 大どろぼうホッツェンプロッツ <シリーズ>

オトフリート=プロイスラー作 中村浩三訳

偕成社



黒ひげもじゃもじゃ、かぎっ鼻、腰に短刀、手にピストルの大どろぼうをつかまえようと、カスパール少年と親友のゼッペルが知恵をしぼって追跡する。

森のかくれ家、魔法使い、妖精…
不思議なものが次々現れる。

6 かあちゃん取扱説明書

いとうみく作 佐藤真紀子絵

童心社



かあちゃんはいつも怒っているし「早く」って言う。哲哉はとうちゃんに「かあちゃんはほめるときげんがよくなる、うまく扱え」と教えられ、かあちゃんのとりにせつを作ることを思いついた。

7 かおるのひみつ

征矢清著 石松知磨子絵

あかね書房



かおるは4年生。校内作文コンクールで、クラスで目立つことのない黒崎さんが1等賞を取りました。

ところが、その作文が本当のことではないというわさが流れます。真実を知ってしまったかおるは、どうしたらよいか悩みます。

8 火曜日のごちそうはヒキガエル

ラッセル・E.エリクソン作 佐藤凉子訳 ローレンス・ディ・フィオリ絵

評論社



冬のある日、ヒキガエルのウォートンはおそろしいみみずくにつかまり、誕生日のごちそうにすると言われた。ウォートンは、はしごを作りにげ出そうとするが・・・。

誕生日の火曜日まであと2日!

9 ロで歩く

丘修三作 立花尚之介絵

小峰書店



体が不自由で20年以上寝たきりのタチバナさん。でも暗くなったりくじけたりしません。特製の車輪つきベッドに横になったまま散歩に出かけます。お母さんにベッドに乗せてもらった後は、道行く人に押して行ってもらうのです。

10 くちぶえ番長

重松清著

新潮社



4年生のツヨシのクラスに一輪車と口笛が得意な転校生、マコトがやってきた。「弱きを助け強きをくじく番長になりたい」と言うマコトは、ぶっきらぼうだが優しい。嬉しい時も悲しい時も共に過ごした、忘れられない一年間の物語。

11 車のいろは空のいろ 白いぼうし

あまんきみこ作 黒井健絵

ポプラ社



タクシー運転手の松井さんが、小さな
白いぼうしを見つけてつまみあげると、モンシロチョウがとびだしました。松井さんが車にもどるとかわいい女の子がすわっていました。

松井さんとふしぎなお客さんのおはなし
8編。

12 黒ネコジェニーのおはなし 1・2・3

エスター・アベリル作・絵 松岡享子・張替恵子共訳

福音館書店



はにかみやの黒ネコジェニー。飼い主のキャプテンにあんでもらった真っ赤なマフラーをして、勇気を出してキャット・クラブの会合に出かけます。

ジェニーとすてきな仲間たちのお話。

げんぺい
13 源平の風

齊藤洋作 高畠純画

偕成社



人間に興味を持ち、里から里へ渡り歩
く若いきつね。ある僧侶から白駒山の
仙人の話聞き、仙人の下で修行して人
間に化れることができるようになる。世は
平家滅亡、源氏の武士の時であった。

14 こぎつねルーファスのぼうけん <シリーズ>

アリソン・アトリー作 石井桃子訳

岩波書店



みなしごのこぎつねルーファスは、やさ
しいアナグマさんの家族のもとでくらすこ
とになりました。

アナグマの子どもたちと遊んだり、こっそ
り夜の森へ出かけたたり、元気でやんちゃ
なルーファスはぼうけんが大好き。

15 ココロ屋

梨屋アリエ作 菅野由貴子絵

文研出版



ともだちを泣^なかせてしまったひろきは、「ココロを入れかえなさい」と先生に怒^{おこ}られる。思わず教室から走り出したひろきの前に心を売^あっている「ココロ屋」が現^{あらわ}れる。そこで自分のココロと『やさしいココロ』を入れかえてみると……

16 せいめいのれきし 改訂版

バージニア・リー・バートン文・絵 いしいももこ訳
まなべまこと監修

岩波書店



考えられないほど大昔、宇宙^{うちゅう}の中に太陽が生まれ、わたしたちの地球も生まれた。その地球に大地や海ができ、やがて生きものが誕^{たんじょう}生する。人間の時代になるまでの、何億年^{なんおくねん}もの長い長い生命^{はってん}の発展^{れきし}の歴史を見てみよう!

17 世界でいちばん^{まず}貧しい^{だいてうりよう}大統領のスピーチ

中川学絵 くさばよしみ編

汐文社



環境^{かんきよう}が悪化していく地球の未来^{みらい}について、世界の代表が集まって話し合った2012年の国際会議^{こくさいかいぎ}。解決^{かいけつ}の名案^{めいあん}が出ない中、ウルグアイのムヒカ大統領^{だいてうりよう}の演説^{えんせつ}が始まった。

国民^{こくみん}のために質素^{しつそ}に暮らし、世界で一番^{まず}貧しいといわれる大統領^{だいてうりよう}の言葉とは。

18 小さなスプーンおばさん <シリーズ>

アルフ・プリョイセン著 大塚勇三訳

学研 (Gakken)



とつぜん、ティースプーンくらいに小さくなってしまうおばさん。「なんてこった!」とつぶやきながら、思いもよらぬやり方で、明るくたくましくどんなこともかたづけてしまいます。

19 ちびドラゴンのおくりもの

イリーナ・コルシュノフ作 酒寄進一訳 伊東寛絵

国土社



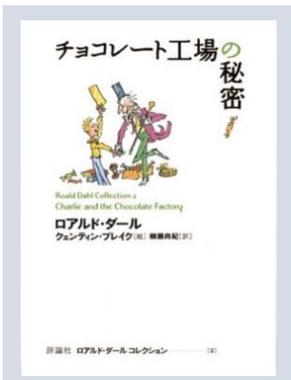
ハンノーは“デブソーセージ”とからかわれ、学校ではひとりぼっち。ある日、ちびドラゴンと出会う。ドラゴンの国にはない文字や歌、ダンスに^{むちゅう}夢中になるドラゴン。教えているうちに、ハンノー自身も^か変わっていく。

ロアルド・ダールコレクション 2

20 チョコレート工場の秘密

ロアルド・ダール作 柳瀬尚紀訳 クエンティン・ブレイク絵

評論社



^{いだい}偉大な^{かし}お菓子^し発明家ワンカ氏のチョコレート工場に、5人の子どもが^{しょうたい}招待されることになった。^{まず}貧しいチャーリーは、幸運にも黄金のチケット入りのチョコレートを手に入れ、^{いっしょ}ジョウじいちゃんと一緒に、^{ふしぎ}不思議な工場の見学ツアーに^{さんか}参加するが…。

21 月夜のみみずく

ジェイン＝ヨーレン詩 ジョン＝ショーエンヘル絵
くどうなおこ訳

偕成社



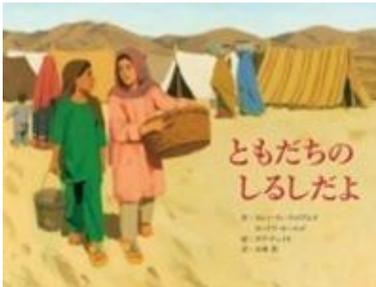
とうさんとわたしは、みみずくをさがしに冬の夜ふけにでかけた。

雪が降り積もった森は、音もなくどこまでも静か。「ほうーほう ほ・ほ・ほ ほうー」とうさんはみみずくに呼びかける。わたしは、だまって耳をすましていた。

22 ともだちのしるしだよ

カレン・リン・ウィリアムズ・カードラ・モハメッド作
ダグ・チャーカ絵 小林葵訳

岩崎書店



なんみん 難民キャンプで暮らすリナは救援物資の中から片方だけのサンダルを手に入れた。2年ぶりにはく真新しいサンダルだったが、もう片方を手にしたのはフェローザという女の子だった。二人はそれを毎日交代ではくことにした。

23 どんなかんじかなあ

中山千夏文 和田誠絵

自由国民社

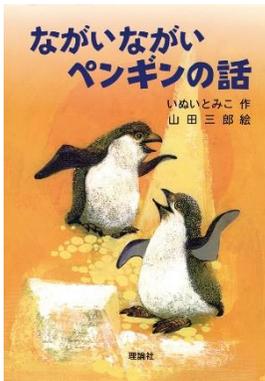


目がみえないって、どんなかんじかなあ。目をつぶってみたら、たくさんの音がきこえたよ。耳がきこえないって、どんなかんじかなあ。ひろくんはいろいろ考えます。

24 ながいながいペンギンの話

いぬいとみこ作 山田三郎絵

理論社

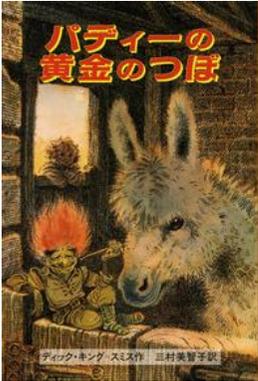


ペンギンの兄弟、こわいもの知らずのルルト、よわむしのキキ。人間につかまってしまうたり、氷の島に乗って流されて、くじらに助けってもらったり。みんなを心配させながらもたくましく成長する南極のペンギンのお話。

25 パディーの黄金のつぼ

ディック・キング＝スミス作 三村美智子訳

岩波書店



8才の誕生日の朝、ブリジットには小人のパディーが見えました。174才のパディーは気むずかしくていじわるなところもありますが、ふたりは友だちに・・・。

アイルランドのいい伝えをもとにしたふしぎな物語。

26 1つぶのおこめ

デミ作 さくまゆみこ訳

光村教育図書

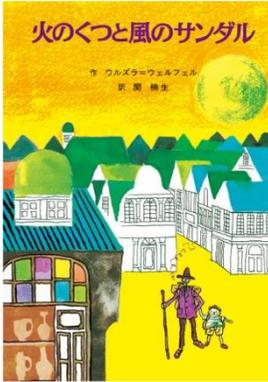


王様がお米をひとりじめし、人々は貧しく細々と食いつなぐ。こぼれたお米を届けた村おすめラーニの正直さに王様は感心した。ほうびを与えるが、ラーニが望んだのは1粒のお米だけ。それを30日の間、前の日の倍の数だけほしいと願い出る。

27 火のくつと風のサンダル

ウルズラ・ウェルフェル作 関楠生訳 久米宏一絵

童話館出版



ちびでデブとからかわれてなやむチムに、くつ^{しよくにん}職人のとうさんは赤いくつをプレゼントする。夏休みにチムは「火のくつ」父さんは「風のサンダル」と名乗り、旅に出る。旅先での^{たいけん}体験や父さんのおはなしが、チムを明るく元氣^かに変えていく。

28 百まいのドレス

エレナー・エステイス作 石井桃子訳 ルイス・スロボドキン絵

岩波書店



ペギーとマデラインは、^{まず}貧しく友だちのいない^{いみん}移民のワンダをよくからかいます。いつも同じ服を着ているワンダが「百まいのドレスを持っている」と言うからです。ワンダに^{どうじよう}同情しながらもペギーに何も言えないマデラインは・・・。

29 ぼくは王さま

寺村輝夫作 和田誠絵

理論社



たまごが^{だいす}大好きで、遊ぶことが^{だいす}大好きで、ときどきうそを言ってしまう王さま。

王子さまが生まれた^{いわ}お祝いに、国じゅうの人を集めてぞうのたまごのたまごやきをごちそうしたいと言い出した。さてさて…。

30 ポリーとはらぺこオオカミ

キャサリン・ストー作 掛川恭子訳

岩波書店



かしこい女の子ポリーとおばかさんのオオカミ。オオカミは、赤ずきんや三びきの子ブタ、七ひきの子ヤギなどの昔話のまねをして、ポリーを食べようとしています…。

31 町にきたヘラジカ

フィル・ストング作 瀬田貞二訳 クルト・ヴィーゼ絵

徳間書店



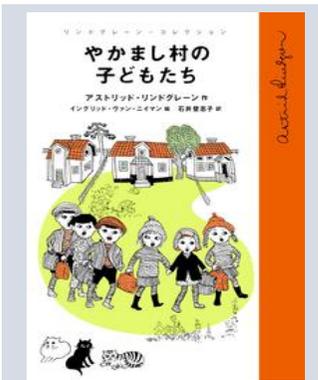
なかよしのワインとイバールは、うまや
でヘラジカがまぐさを食べているのを見
てびっくり。とうさんが来て、^{ちゆうざいじん}駐在員さんを
呼んで、町長さん^よを呼んで・・・町は^{おおさわ}大騒
ぎ。どうやらヘラジカはこの町が気に入っ
てしまったようです。

32 やかまし村の子どもたち <シリーズ>

アストリッド・リンドグレン作 石井登志子訳

イングリッド・ヴァン・ニイマン絵

岩波書店



スウェーデンのいなかにあるやかまし
村には、家がたったの3軒^{けん}。子どもは6人
しかいません。でも、やかまし村の子ども
たちには、いつだって楽しいことばかりで
す。さあ、あなたもちよっとやかまし村をの
ぞいてみましょう。

33 ルドルフとイッパイアッテナ

斉藤洋作 杉浦範茂絵

講談社



見知らぬ土地に来た小さな黒ねこルドルフは、文字が読めるトラねこイッパイアッテナと出会う。きびしいけれど楽しいノラねこ生活を送る中で、生きていくための^{ちえ}知恵や「キョウヨウ」を身につけていく。

34 わすれられないおくりもの

スーザン・バーレイ作・絵 小川仁央訳

評論社



森のだれからも頼りにされ、慕^{した}われていたアナグマ。「長いトンネルの向こうに行くよ、さようなら」という手紙を^{のこ}残して死んでしまった。悲しみでどうしたらいいかわからないなかまたち。でもアナグマはひとりひとりに^{すてき おく}素敵な贈り物を^{のこ}残していた。

【詩の本】

声に出して読んでみましょう。

家族やお友だちといっしょに楽しんで!

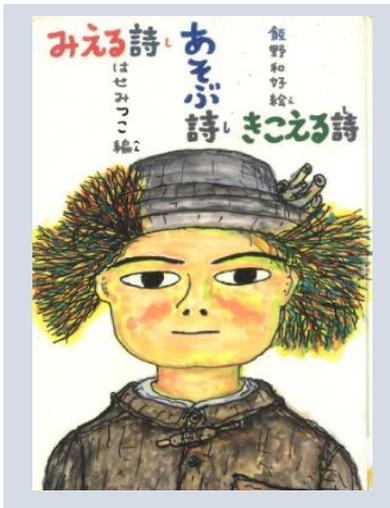
『みえる詩 あそぶ詩 きこえる詩』

『しゃべる詩 あそぶ詩 きこえる詩』

『おどる詩 あそぶ詩 きこえる詩』

はせみつこ編 飯野和好絵

富山房



ことばはつなぐ
とおくとちかく
ばらとみつばち
だれかとだれか
いとむかし
すきときらい
きみとわたし

『みえる詩あそぶ詩きこえる詩』富山房

あとがきより

【詩の本】



『ことばあそびうた』

谷川俊太郎詩 瀬川康男絵



福音館書店

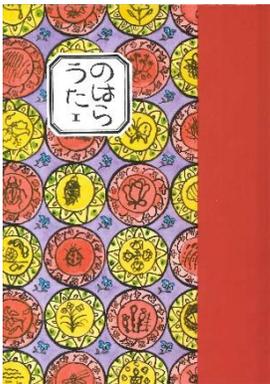
口に出すと楽しい言葉遊びが
たくさん詰まっています。

「かっぱらっぱかっぱらった
とってちった」
(かっぱ より)

みんなも声に出して楽しもう。

『のはらうた 1～5』

くどうなおことのはらみんな作



童話屋

かまきりりゅうじ
こねずみしゅん
たんぽぽはるか
かぜみつる など
“のはらむら”のみんなが作った
詩がのっています。

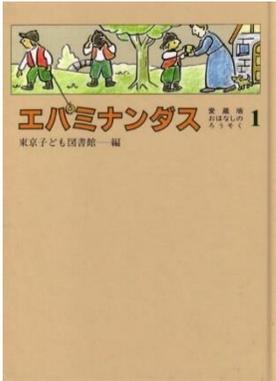
【昔話の本】



『愛蔵版 おはなしのろうそく 1～12』

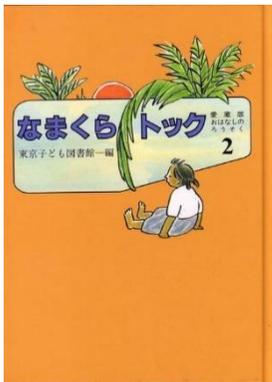
東京子ども図書館編 大社玲子絵

東京子ども図書館



小さな本の中に、日本や世界の国々に
つた 伝わる昔話、^{そうさく}創作のお話がつまっています。
自分で読んで、^{だれ}誰かに読んでもらっ
ても楽しめます。

- 1 エパミナダス
- 2 なまくらトック
- 3 ついでにペロリ
- 4 ながすねふとはらがんりき
- 5 だめといわれてひっこおな
- 6 ヴァイノと白鳥ひめ
- 7 雨のち晴
- 8 赤鬼エティン
- 9 ホットケーキ
- 10 まめたろう
- 11 ティッキ・ピッキ・ブン・ブン
- 12 雌牛のブーコラ



【昔話の本】



『こども世界の民話 上下』

内田莉莎子・君島久子・山内清子著

実業之日本社



世界の国々で、長い間語り^{つた}伝えられてきた42話の民話^{みんな}が入っています。トリニダード・トバゴ、リトアニア等あまり知られていない国のお話にも出会えます。

もっと読みたい人は、こちらもおすすめ

『子どもに語る日本の昔話 1～3』

稲田和子・筒井悦子著 こぐま社

『子どもに語るグリムの昔話 1～6』

グリム著 佐々梨代子訳・野村滋訳 こぐま社

『イギリスとアイルランドの昔話』

石井桃子編・訳 J・D・バトン画 福音館書店

『世界のおかしな話』

瀬田貞二訳 太田大八絵 のら書店

【読みつがれている本】

35 エーミールと探偵たち

たんてい
ケストナー作 高橋健二訳

岩波書店



エーミールはおばあさんを訪ねる一人旅の車中で、あやしい紳士にお金をぬすまれてしまう。

エーミールが町で出会った少年たちもいっしょになって、みんなで知恵をしぼり犯人を追いつめる。

36 大きな森の小さな家

ローラ・インガルス・ワイルダー作 恩地三保子訳
ガス・ウィリアムズ画

福音館書店



ローラは、北アメリカの大きな森の丸太小屋にとうさん、かあさん、姉のメアライ、妹のキャリーと住んでいた。

好奇心いっぱいのローラの目を通して、きびしい開拓生活の中での家族の深い愛と日々の喜びが、生き生きと語られる。

37 風にのってきたメアリー・ポピンズ

パミラ・リンド・トラヴァース作 林容吉訳

岩波書店



東風のふく日、こうもり傘^{がさ}につかまって
空からバンクス家にやってきたメアリー・
ポピンズ。子どもたちのしつけに^{きび}厳しくぶ
つきらぼうな人だけど、子どもたちは^{かのじょ}彼女
が大好き。なぜって、いつだって不思議な^{ふしぎ}
世界に^つ連れて行ってくれるからです!

38 がんばれヘンリーくん <シリーズ>

ベバライ・クリアー作 松岡享子訳 ルイス・ダーリング絵

学研教育出版 (Gakken)



ヘンリーくんはある日、町であばら^{ほね}骨が
すけてみえる1匹^{びき}の犬と出会う。

「アバラー」と名づけて家に^つ連れて帰ろ
うとするが、犬はバスに乗せられない!

^{ぜったい}絶対^つ連れて帰りたいヘンリーくん。

さて、どうする?

【読みつがれている本】

39 クローディアの秘密^{ひみつ}

E.L.カニグズバーグ作 松永ふみ子訳

岩波書店



11才のクローディアが弟を誘いこんで家出した行先は、ニューヨークのメトロポリタン美術館。こっそり寝泊りするうちに、二人はミケランジェロ作かと注目される天使の彫像の秘密に気づき、その謎を解こうとします。

40 クワガタクワジ物語

中島みち著

偕成社



小学2年生の太郎くんは、大好きなクワガタを一度に3びきもつかまえます。

みそだるに雑木林の土を入れクヌギの落ち葉を重ねたクワガタマンションで、クワイチ、クワジ、クワゾウと名前をつけて飼い始めます。

41 シャーロットのおくりもの

E.B.ホワイト作 さくまゆみこ訳 ガース・ウィリアムズ絵

あすなる書房



子ブタのウィルバーはある日、自分が冬になるとハムにされる運命と知る。クモのシャーロットが、ウィルバーの命を助けるために^{さくせん}作戦を考え出した。そしてその^{けつまつ}結末とは？

子ブタとクモの不思議な友情の物語。

42 セロひきのゴーシュ

宮沢賢治作 茂田井武画

福音館書店



ゴーシュは^{がくだん}楽団でセロを^ひ弾いているが、あまりにも下手なため楽長に^{おこ}怒られてばかり。そんなゴーシュのもとに、^{みけ}三毛^{ねこ}猫やカッコウ、たぬきなど、いろいろな動物が夜ごと^{おとず}訪れ、理由をつけては^{えんそう}演奏を^{いら}依頼する。

43 台所のマリアさま

ルーマー・ゴッデン作 猪熊葉子訳 C.バーカー絵

評論社



お手伝いのマルタの祖国では、刺繍や琥珀などで飾られた聖母の絵が、台所でみんなを見守っていた。ここにはないと悲しむマルタに、グレゴリーはその絵を贈りたいと思う。苦勞して手作りするうちに、それまで閉ざされていた彼の心は開かれていく。

44 太陽の戦士

ローズマリ・サトクリフ作 猪熊葉子訳 チャールズ・キーピング絵

岩波書店



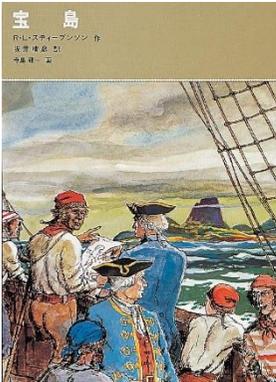
紀元前900年頃のイギリスの物語。片腕のきかない少年ドレムは、部族の戦士を目指している。しかし、成人への儀式であるオオカミ狩りに失敗し、部族を追われる。ドレムは果たしてこの先、戦士になれるのか。

【読みつがれている本】

たからじま
45 宝島

ステイーブンソン作 坂井晴彦訳 寺島龍一画

福音館書店

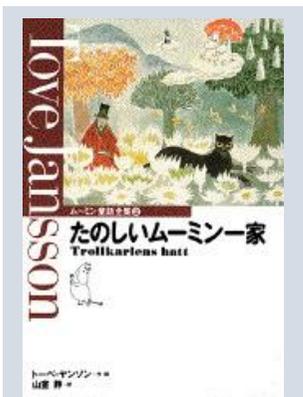


あやしげな老水夫が、宝のありかを印
した地図を残して父の宿で死んだ。少年
ジムは宝探しの航海に加わるが、待っ
ていたのは海の厳しいおきてや、コックとし
て乗り込んだ一本足の海賊シルバーの陰
謀だった。

46 たのしいムーミン一家 <シリーズ>

トーベ・ヤンソン作・絵 山室静訳

講談社

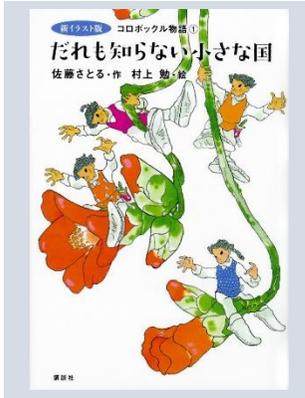


長い冬眠から目をさましたムーミント
ロール。友だちのスナフキン、スニフと“おさ
びし山”で黒い帽子を見つけます。これは
魔法の帽子でした。ムーミントロールは、
その帽子をかぶってしまいます。

47 だれも知らない小さな国

佐藤さとる作 村上勉絵

講談社



小学3年生だった「ぼく」がもちの木をさがしに行った時、小山や杉林に囲まれた三角形の平地を見つけた。ぼくは、不思議な感じのするこの場所に何度も通い、ある時、偶然出会った女の子が川に流した赤いくつの中に小人を見つけた。

48 年とったばあやのお話かご

ファージョン作 石井桃子訳

岩波書店



ばあやは毎晩くつ下をつくろいながら、子どもたちにおはなしをしてくれます。金の足を贈られた美しい姫の話、かんしゃくもちの王子が心臓をとりだした話など12話。

49 とぶ船

ヒルダ・ルイス作 石井桃子訳

岩波書店

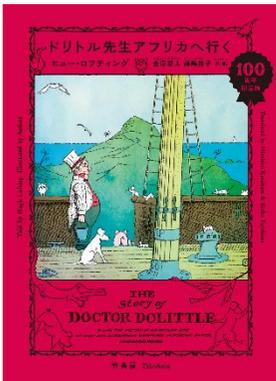


ピーターはうす暗い小さな店で、古い
小さなおもちゃの木の船を買う。それは持
ち主を乗せるほど大きくなり、空間も時間
も飛びこえて、行きたい所に連れていって
くれる魔法の船だった。ピーターは兄弟4
人で船に乗り込み、冒険の旅に出る。

50 ドリトル先生アフリカへ行く <シリーズ>

ヒュー・ロフティング著 金原瑞人・藤嶋桂子共訳

竹書房

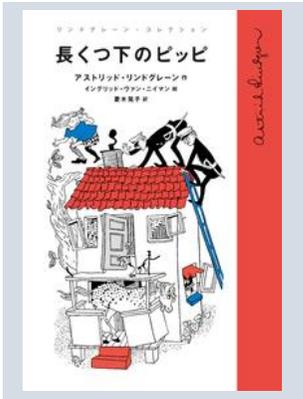


イギリスのいなか町のお医者さんドリト
ル先生は、オウムに動物語を習って動物
を診察するようになる。ある年、アフリカの
サル達^{たち}が疫病^{えきびょう}に苦しんでいると聞き、動
物たちを連れて船でアフリカに向かう。

51 長くつ下のピッピ

アストリッド・リンドグレン作 菱木晃子訳
イングリッド・ヴァン・ニイマン絵

岩波書店

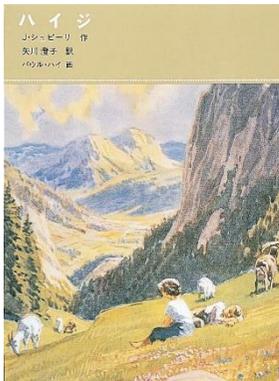


9才の女の子ピッピは、世界一強くてこわいものなし。おまわりさんとおにごっこをしたり、どろぼうをつかまえてダンスの相手をさせたり…。ピッピのくらは、楽しくって、びっくりすることばかりです。

52 ハイジ

J・シュペーリ作 矢川澄子訳 パウル・ハイ画

福音館書店

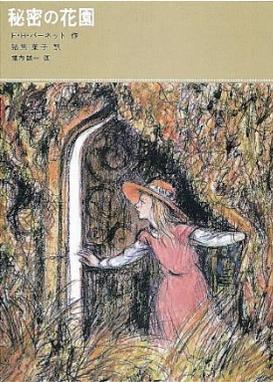


山小屋で暮らすおじいさんのところにやってきたハイジ。アルプスの雄大な自然の中で、貧しいけれど素朴な人々にふれ、心を育みます。やがてハイジのまっすぐな心が、孤独や悲しみの中にある人々の心を救っていきます。

53 秘密の花園

F.H.バーネット作 猪熊葉子訳 堀内誠一画

福音館書店



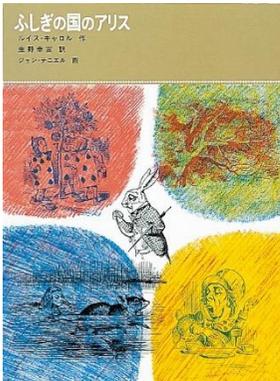
こじ
孤児になったメリーがひきとられたイギ
リスのおじさんの大屋敷には、だれも入る
ことのできない庭園があった。

ある日メリーは、どこかの部屋でだれか
はげ
はげしく泣いている声を聞きつける。

54 ふしぎの国のアリス

ルイス・キャロル作 生野幸吉訳 ジョン・テニエル画

福音館書店



アリスは、チョッキを着たウサギを追い
かけて大きなウサギ穴に飛びこむ。そこ
は、不思議で何とも奇妙な所だった。なみ
だの池、変な帽子屋、にやにや笑うネコ、
トランプの女王など、次々に変わったもの
たちが現れる。

55 ふたりの星

ロイス＝ローリー作 掛川恭子・ト部千恵子共訳 太田大輔絵

童話館出版



第二次世界大戦下のデンマークで、ユダヤ人への迫害が始まった。アネマリーの家では、親友のユダヤ人エレンをかくまう。そこへドイツ兵がふみ込んできた。

アネマリーはエレンの命を助けるために勇気をふるい起こす。

56 ふたりのロッテ

ケストナー作 池田 香代子訳 ※高橋健二訳もあり

岩波書店



夏休みにキャンプで出会ったルイーゼとロッテ。ふたりは姿がそっくりなことに驚き、別れた親にそれぞれ育てられたふたごなのだと気づきます。もう一人の親への会いたさから、ふたりは秘密の大計画を立てます。

【読みつかれている本】

ぼうけんしゃ
57 冒険者たち

斎藤惇夫作 藪内正幸画

岩波書店



ドブネズミのガンバは海を見に行こうと誘われ、港でたくさんのネズミたちと知り合う。そこで傷ついた島ネズミと出会い、彼の住んでいる島がイタチ一族に襲われていることを聞く。みんなに反対されながらも、ガンバは島ネズミを助けに向かう。

58 ぼくとくらししたフクロウたち

ファーレイ・モワット作 稲垣明子訳 R・フランケンバーグ絵

評論社

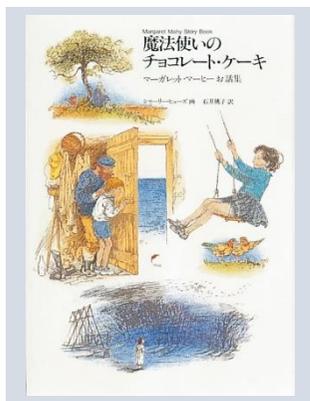


ぼくはある日草原で、大風で落ちたミミズクのひなを見つける。クフロと名づけ、手に入れたもう1匹のメソといっしょに育て始める。
大胆なクフロとおくびょうなメソは日々おかしな事件をまき起こす。

まほう
59 魔法使いのチョコレート・ケーキ

マーガレット・マーヒー作 石井桃子訳 シャーリー・ヒューズ画

福音館書店



まほう へ た
魔法は下手だが、とてもおいしいチョコレートケーキを作る魔法使い。ある日、町中の子どもをパーティーに招待する。しかしだれもやってくるので、リンゴの木を相手にお茶をすることに……

ふ し ぎ まね たんべんしゅう
不思議の世界に招かれる8つの短編集。

60 ヨーンじいちゃん

ペーター＝ヘルトリング作 上田 真而子訳

偕成社



ヤーコブたちと暮らすためにヨーンじいちゃんがやってきた。じいちゃんは頑固だけれど、おかしくて、まっすぐで、あたたかい。みんな、じいちゃんが大好きだ。

ずっといっしょにいられると思っていたのに……。

61 ライオンと魔女 ナルニア国ものがたり<シリーズ>

C.S.ルイス作 瀬田 貞二訳 ポーリン・ベインズ画

岩波書店



いなかの古い^{やしき}屋敷にやってきた4人兄妹は、一室にあった大きなタンスから^{べつ}別の世界に入ってしまう。そこは、もの言うけものや不思議な^{ふしぎ}妖精^{ようせい}たちの住むナルニア国だった。

ナルニア国の^{そうだい}壮大な^{れきし}歴史物語の^{だい}第^{かん}1巻。

このブックリストは、1986年に北本市子ども文庫連絡会が作成し、その後、北本市立中央図書館・北本子どもの本を楽しむ会
北本市立こども図書館が加わり選書・改訂を行っています。

発行

北本市立中央図書館

TEL:048-592-0795
北本市文化センター指定管理者
acTrc(アクトーク)北本ネットワーク

北本市立こども図書館

TEL:048-598-7642
北本市立こども図書館指定管理者
北本まちづくり共同事業体

北本市子ども文庫連絡会

北本子どもの本を楽しむ会



2015.7.10 改訂

2019.6.1 追補

2025.1.1 改訂